地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2021
1月
No.80

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[巻　頭]

院長 新年のご挨拶

[診療科紹介] 救急集中治療科

●[AGMCニュース] 無菌室を22床に大幅増床しました

●ぶらり～っと病院探訪　●ご寄附のお願い　●マスク着用のご協力をお願いします

●面会禁止のお願い　●病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

院長 新年のご挨拶

謹賀新年

兵庫県立
尼崎総合医療センター
院長 平家 俊男

令和3年、新年のご挨拶を申し上げます

令和2年、新年のご挨拶を申し上げた早々、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大し、現在に至っております。この間、地域の皆様から多大なるご支援を頂戴しながら、様々な困難に取り組んでくることができました。あらためて感謝申し上げます。“with コロナ”での社会生活は令和3年も継続します。引き続き、地域の皆様のご支援を頂きながら取り組んでいきます。また、開院5年半が経過した「兵庫県立尼崎総合医療センター(AGMC)」は、【(1)本格的地域完結型医療の推進・充実！ (2)医療のみならず、マネジメント・サービスでもトップの病院！ (3)量から質へ！】を「目指すこと」3項目として掲げ、成長の歩みを継続していきますので、宜しくお願い申し上げます。

【新型コロナウイルス感染症】

令和2年は、春の第一波、夏の第二波、そして今、秋～冬の第三波の感染増加に対峙しています。希望が持てるワクチン開発が進んでいますが、現時点では、感染拡大防止をしっかり行うことが唯一の感染症対策であることを理解しておくことが必要です。感染拡大のスピードを抑制し、余裕をもって対応できるように、時間稼ぎをする必要があります。このような中、私達が、知らない間に感染してしまうことがあることは避けられません。しかし、①「自分が感染するリスクを少なくする」ことはできます。また、②「自分が感染していたとしても他人に極力感染させないようにする」こともできます。感染拡大防止の具体的方法は、何も目新しいものではありません。これまで繰り返し耳にされていることです。①マスク、②手指消毒、③3密(密閉、密集、密接)を避ける、そして④大声で話さないです。感染拡大防止、社会活動を両立させるために、皆さん、一緒になって取り組みましょう。

継続して「目指すこと」3項目

❶ 本格的地域完結型医療の推進・充実

本院の役割は、尼崎市のみならず、人口約175万人の阪神医療圏＋約45万人の大阪市西部地域の医療・介護全体と連携・協調し、日本に誇れる質の高い高度急性期・高度専門・先端・政策医療の部分を担うことです。さらに、日本に誇れる質の高い診療内容を担保するため、研修・教育・研究も重点課題です。AGMCは、ベッド数730床、医師数391名、看護師1,067名、職員数2,307名を擁し、充実したER型救命救急センター、ICU・CCU等の重症系病床、低侵襲心血管治療センター、ハイブリッド手術室やロボット手術室を含む19の手術室、最新鋭のがん診断・治療設備等がフル稼働しています。第2ステージに突入したAGMCに求められることは、これらの充実した資源・設備が緊密に連携・協調することにより、脱皮を繰り返した、柔軟な病院組織を編み上げることです。それにより、地域の医療・介護全体との一層の連携・協調が可能になります。

❷ 医療のみならず、マネジメント・サービスでもトップの病院

柔軟な組織運営には、マネジメント・サービス(の向上)が必要です。職員全員が、各部門での当事者意識とともに病院全体の視野も入れて、どのような取り組みがマネジメント・サービスの向上に繋がるか、常に頭の片隅におきながら、知恵を出し合いましょう。マネジメント・サービス(の向上)は、職員の皆さん自身の働き方を見直す上でも必要です。「働きたい病院」「働きやすい病院」「働き甲斐がある病院」を目指し、病院も変化(進化)していく(病院ガバナンス)必要がありますし、職員の皆さん自身も意識を向けて(自己ガバナンス)頂きたいと考えます。

❸ 量から質へ

これからは、高度専門医療の充実(特にがん診療の充実)、PFM(patient-flow-management)の充実(緊急入院への適応拡大、外来・入院・退院・転院全体を見渡す対応)、医療安全、職場環境等、様々な局面での質的面での充実が、第2ステージに突入したAGMCに求められます。それに合わせて、建物・設備等の量的面でも、若干の修正を行っていく必要もあります。

本院は、地域の皆さんとともに歩んでいく病院です。職員一同、皆さんの健康を守るため、一層の工夫・改善を積み上げてまいります。皆さんの一層のご支援、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

2021年 元旦　兵庫県立尼崎総合医療センター 院長　平家 俊男

救急集中治療科

集中治療で救急重症例の救命に全力を尽くします

重症救急患者さんを救命するためには、初期治療だけでなくその後の集中治療が必要です。私たちはそのような患者さんが入院する集中治療室(EICU)を担当しています。生死をさまよう患者さんの命を救うべく、24時間体制で多くの医療スタッフとともに診療を行っています。

救命救急センター次長
救急集中治療科科長・部長

鈴木 崇生（集合写真:中央）

- 日本救急医学会指導医
- 救急科専門医　●外科専門医
- 集中治療専門医

構成メンバー

救急集中治療科医長

松本　優（集合写真:左）

- 救急科専門医

救急集中治療科医長

恒光 健史（集合写真:右）

- 救急科専門医

提供する活動内容

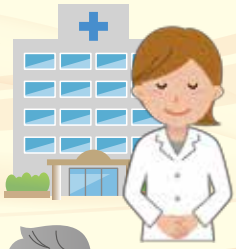
EICU(救急集中治療室)での全身管理を行います。主科となる診療科医師や各部門の専門スタッフと密に連携し、高度な救命救急医療・集中治療を提供することによって、重症救急患者の救命を目指します。また、中毒・蘇生後・熱中症などの一部の疾患では主科として入院診療に当たります。さらに、ドクターカー運用や、災害拠点病院・DMATとして災害医療なども担当します。現在は新型コロナ専用ICUとして重症例の診療を行っています。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

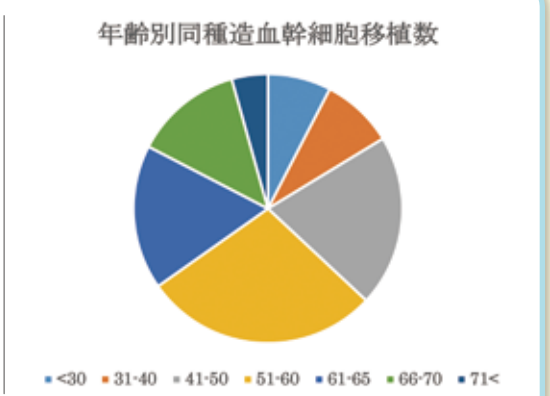
現在はコロナ症例受け入れのため制約がありますが、通常時は救急搬送症例だけでなく、地域の医療機関から紹介される重症例も積極的に受け入れていきたいと考えています。

AGMC ニュース

無菌室を22床に大幅増床しました

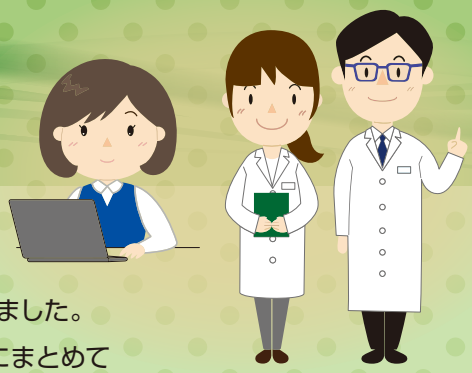


2015年7月以来、10階東の無菌病棟に12床の無菌室にて造血幹細胞移植や急性白血病などの治療を行って参りましたが、院内および地域からの多数のご紹介により、2020年度は同種造血幹細胞移植が、一昨年度の18件から27件へ、急性白血病患者さんも、大幅に増加しました。化学療法後に好中球数<500/μLが1週間以上続くと、真菌感染のリスクが増加し、上記の治療では長期に好中球が0の状態が続くため、真菌感染症の危険に患者さんをさらしてしまうことになります。近年患者数が増加したことにより、無菌室に入ることができない場合も増加していました。そこで、コロナ禍でベッド事情も厳しい中、各方面の多大なるご協力の元、2020年11月末から開始しました通常病室10床(個室2床+4人部屋2床)を無菌室に改修する工事を無事に終え、2021年1月より22床の無菌室で治療を行うことができるようになりました。大変ご迷惑をお掛け致しましたが、この場をお借りしてお礼申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ぶらり～っと 病院探訪

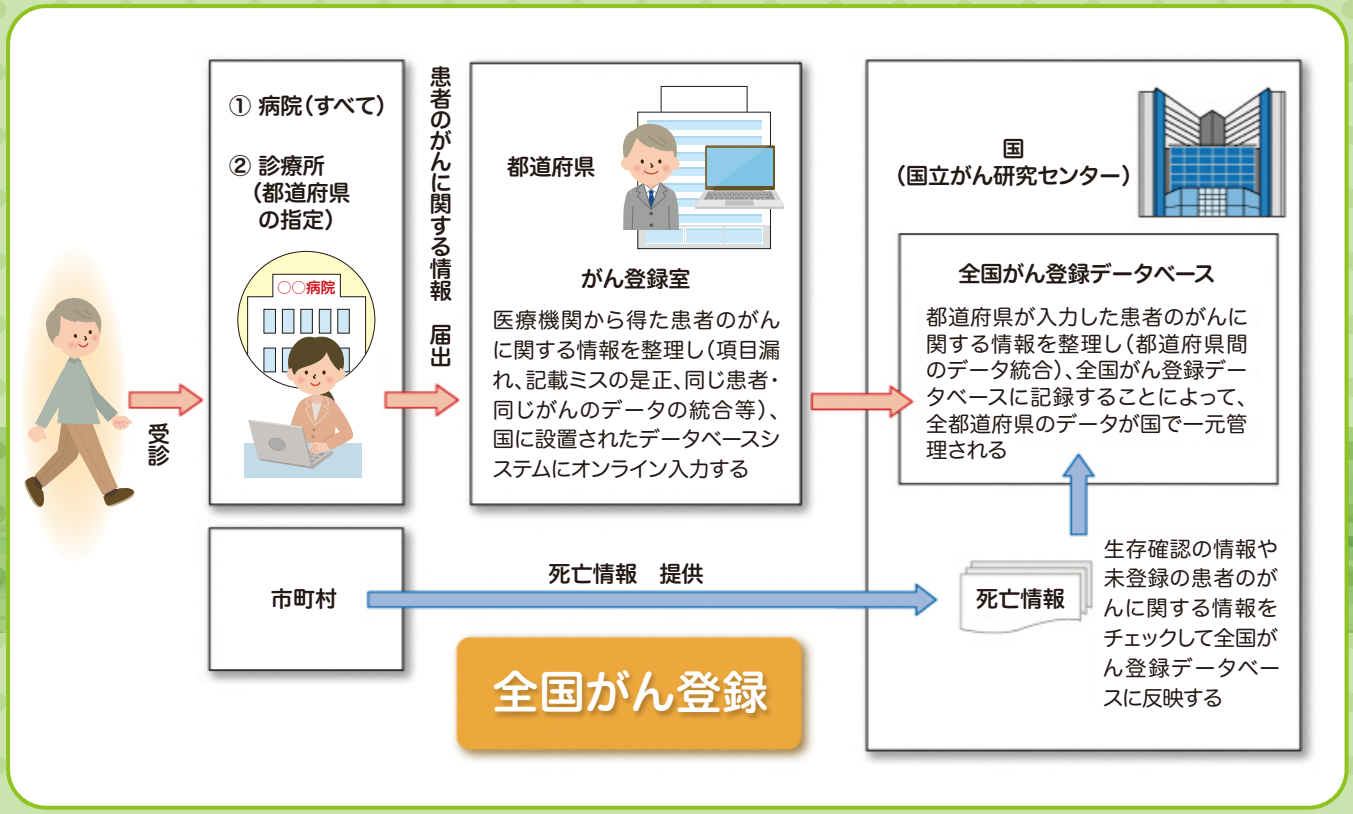
がん登録室



今回は、2020年4月に新しく発足した「がん登録室」を訪ねました。

日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組みを「全国がん登録」と言い、2007年4月に施行された「がん対策基本法」において定義され、2016年1月診断分より、全国の病院で登録業務が義務づけられています。

2015年7月開院いたしました当院は、開院以来、「病歴業務の一部」として、担当者1人で登録業務をこなしてきましたが、対象患者数の増加対応と業務の精度向上を図るため、2020年4月、常勤者3名を加え、計4名の「がん登録室」が新たに発足しました。年間約5,000人のがん入院患者さんの情報をルールに従い「登録処理」をしています。また、登録情報は、統計とし、ホームページでも紹介しています。



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の使途　ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

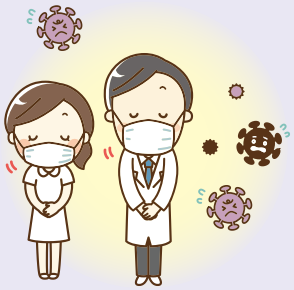
●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター　総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000（代表）

ご寄附のお願い

お知らせ掲示板

マスク着用のご協力をお願いします



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。入院中の患者さんにつきましても病室外に出る際には、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いすることとしました。このため、入院時にはご自宅でのマスクの準備をしていただきますようご理解とご協力をお願いします。

面会禁止のお願い

当院では面会を全面的に禁止しております。なお、患者さんの着替えなどの荷物の受け渡しは病棟職員が対応しますので、防災センターにお声がけください（11時～18時）。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としており、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。令和２年はコロナ禍に始まり、コロナ禍のまま終わる本当に辛い1年でした。早期の終息と、穏やかな日常が一日も早く戻ってくることを願うばかりです。今夏には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。コロナ禍を乗り越えて、日本選手の活躍に日本中が熱く盛り上がる！そんなことを夢見て、皆さん、一緒になって、感染拡大防止対策に取り組みましょう。本年も、あまが咲だよりをよろしくお願いします。　（Y.M.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社